

場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集										
原子炉建屋内	(R B)	R B 5	1 時間	番号 0 2 - 0 6										
タービン建屋内	T B		2 距離											
R ZONE	R		3 遮へい											
Y ZONE	Y		4 線源の除去											
G ZONE	G		5 遠隔、ボット化											
その他	Z		6 汚染拡大防止											
()			7 その他											
内 容		1号機オペレーティングフロアのガレキ落下防止・緩和対策工事の取り組み												
作業場所		1号機 原子炉建屋オペレーティングフロア（最上階）												
概 略		ガレキ落下防止・緩和対策を遠隔施工により対応し被ばく低減を図った												
評 価 (定性・定量)	効 果	対策前		対策後										
		被ばく線量(mSv)		—										
		人工数(人日)		—										
事例詳細														
<ul style="list-style-type: none"> 1号機オペレーティングフロアには損傷した機器(FHM 天井クレーン)が SFP 上に位置し、更に屋根鉄骨等のガレキが堆積している環境であり、ガレキ撤去時に損傷機器が SFP 内へ相楽・達架することによるダスト飛散、保管燃料への影響等の懸念事項がある。また、1号機オペレーティングフロアは、高線量(40~80mSv/h)、高所(地上 30m)なため、作業員による直接作業是不可能なことから、落下防止・緩和対策工事は、遠隔施工を計画して対応することとした。 対策工事の主たる施工は、SFP 水面の養生、FHM 支保梁の設置、天井クレーンの支保設置となるが、これらの施工環境を構築するために、西、南、東の壁面の X ブリースを切断撤去、床ガレキの撤去等、複数の工事をすべて遠隔施工として被ばく低減を図った。 														
  <p>1号機オペレーティングフロア崩落屋根の状況</p> <p>ガレキ落下・緩和対策工事の概要</p>														
   <p>SFP 養生バッグの投入状況</p> <p>FHM 支保梁の挿入状況</p> <p>天井クレーン支保の台車設置状況</p> <p>ガレキ落下・緩和対策工事の現場施工状況</p>														